

原子力規制検査の運用改善に向けた研究

(2) 現状課題に対する改善策の検討

Research on the improving the operation of nuclear regulatory inspections

(2) Examination of improvement measures for current issues

*江藤 淳二¹, 八木 伸太郎¹, 杉野 弘樹¹, 小野寺 将規¹, 中島 清¹, 義澤 宣明¹, 鈴木 清照¹

¹三菱総合研究所

原子力検査官の原子力規制検査制度に対する理解度等及び同制度の運用実態を把握して、現状の課題を抽出し、外部有識者（元 NRC 検査官の経験を有する）からの意見等を踏まえ、我が国の原子力規制検査制度の現状を踏まえた改善策を検討した。

キーワード： Nuclear regulatory inspection, Reactor oversight process, Inspectors, Risk-informed, Performance-Based

1. 緒言

本稿では、2020 年 4 月から施行されて 2 年が経過した原子力規制検査制度について、原子力検査官の原子力規制検査制度に対する理解度等及び同制度の運用実態を把握して、現状の課題を抽出し、それらについて外部有識者（元 NRC 検査官の経験を有する）からの意見等を踏まえ、同制度の実効性向上に関する改善策の検討を行い、今後の制度運用の継続的改善に資することを目的として、アンケート調査等で抽出された課題に対して、我が国の原子力規制検査制度の現状を踏まえた改善策を検討した。

2. 現状課題の抽出

原子力規制検査制度運用の継続的改善に資する論点のうち、類似の論点を整理するとともに、特に制度運用初期において重要であると考えられる論点に焦点を当て、「現状の課題」を次のように 10 個の論点として抽出した。抽出した現状課題のうち、特に重要と考えられる次の 4 つのトピックについて外部有識者を交えて議論し、改善策等の検討を実施した。①検査官の間でコンセンサスを得るためのコミュニケーション、②検査官の力量把握と人材育成、検査ナレッジの蓄積と共有、③原子力規制検査に対する納得感とパフォーマンスベスト・リスクインフォームド検査に係るギャップ、④PRA に関する議論

3. 結果・考察

アンケート調査等で抽出された課題に対して、我が国の原子力規制検査制度の現状を踏まえた改善策を検討し、以下の 4 つの観点で改善策をとりまとめた。

- ① 目標の繰り返し共有と NRC による改善活動の定期的なレビュー
- ② 検査官力量の定期的な確認と力量向上のための教育訓練
- ③ 効果的・効率的な検査活動基盤の整備
- ④ 資源の確保とリソースマネジメント

本調査研究は、原子力規制庁の「令和 3 年度原子力施設等防災対策等委託費（原子力規制検査の運用の継続的改善に向けた調査）」として行われたものである。また、本稿は著者の意見を表明したものであり、必ずしも原子力規制庁の見解を反映したものではない。

参考文献 株式会社三菱総合研究所、令和 3 年度原子力施設等防災対策等委託費（原子力規制検査の運用の継続的改善に向けた調査）事業報告書

*Junji Eto¹, Shintaro Yagi¹, Hiroki Sugino¹, Masaki Onodera¹, Kiyoshi Nakajima¹, Nobuaki Yoshizawa¹, Kiyoteru Suzuki¹

¹Mitsubishi Research Institute, Inc.